

『甲南経済学論集』執筆要綱

1. タイトル

和文と欧文の両方を提出し、できる限り簡潔なものとする。あまりにも長いと判断される場合は、簡潔化を要請する。

2. 要旨・キーワード・目次

タイトルと本文の間に、400字以内の要旨とキーワード（最大5語）および目次を記載する。JEL Classification の記載は任意とする。

3. 本文

(1) 和文の場合

- ① 「はじめに」：通し番号はつけない。
- ② 「本文」：節はⅠ，Ⅱ…，項は1，2…とする。さらに下位区分を用いる場合は，(1)，(2)…とする。
- ③ 「おわりに」：通し番号はつけない。

(2) 欧文の場合

- ① 「Introduction」：通し番号はつけない。
- ② 「本文」：節はⅠ，Ⅱ…，項は1，2…とする。さらに下位区分を用いる場合は，(1)，(2)…とする。
- ③ 「Conclusion」：通し番号はつけない。

4. 脚注と文献リスト

注番号は(1)から始めて通し番号とし、各ページに脚注をつける（章末脚注は用いない）。著者名と刊行年の表記は注にまわすのではなく、本文中でする（下記参照）。また、論文末には文献リストを作成しなければならない。

- ×) 【本文】「…とクロスビーは説明する。」
【脚注】(1) Crosby [1970]
-) 【本文】「…とクロスビーは説明する(Crosby [1970])。」「/」Crosby [1970] は…と説明する。」
【文献リスト】Crosby (1970) タイトル，出版地：出版社